

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	博物館	■担当係	博物館
■評価事業名称	見学者受入・案内事業		
■評価事業コード	402200 - 035	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり	
	■基本施策	02 社会教育の充実	
	■施策	03 社会教育機能の充実	
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	博物館に展示した資料や研究成果を見学してもらうほか、ガイドボランティアによる案内サービスの提供を行う。観光、視察、学習、研究等で訪れる見学者の受け入れ、案内。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	見学者受入・案内事務	市民等の来館者		来館者数 23,333人
02	施設の使用許可	市民		施設使用件数137件(北陶会含む)
03	みちのく民俗村ガイドボランティア育成事業	市民		会員数23人、年間活動延べ人数189人。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	5,767	5,393	6,162	6,313	
人件費	1,729	5,011	7,166	8,296	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	7,496	10,404	13,328	14,609	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	年間の開館日数	332日	317日	321日	333日	年間の開館日数
03	来館者の数	25792人	23699人	14,524人	23,333人	年間の来館者総数
04	開館1日当たりコスト	19,204円	22,785円	28,277円	28,659円	

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

23年度は震災の影響で来館者数が落ち込んだものの、24年度は22年度並みに戻った(但しくらまつり期間中無料開放したことによる影響が大きい)。

問題点・課題等

直近3年位の来館者数は横ばいだが、それ以前から見ると減少傾向は否めないため、今後、民俗村を商工部に移管し観光施設として活用することとしている。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明